

勝承夫詩集

下卷

勝承夫詩集 下卷

勝 承夫詩集 下卷

定價一二、〇〇〇円 (上下共)

昭和五十六年十二月十日 發行

編者 編集委員

印刷所 日新印刷株式會社

製本所 荒木製本株式會社

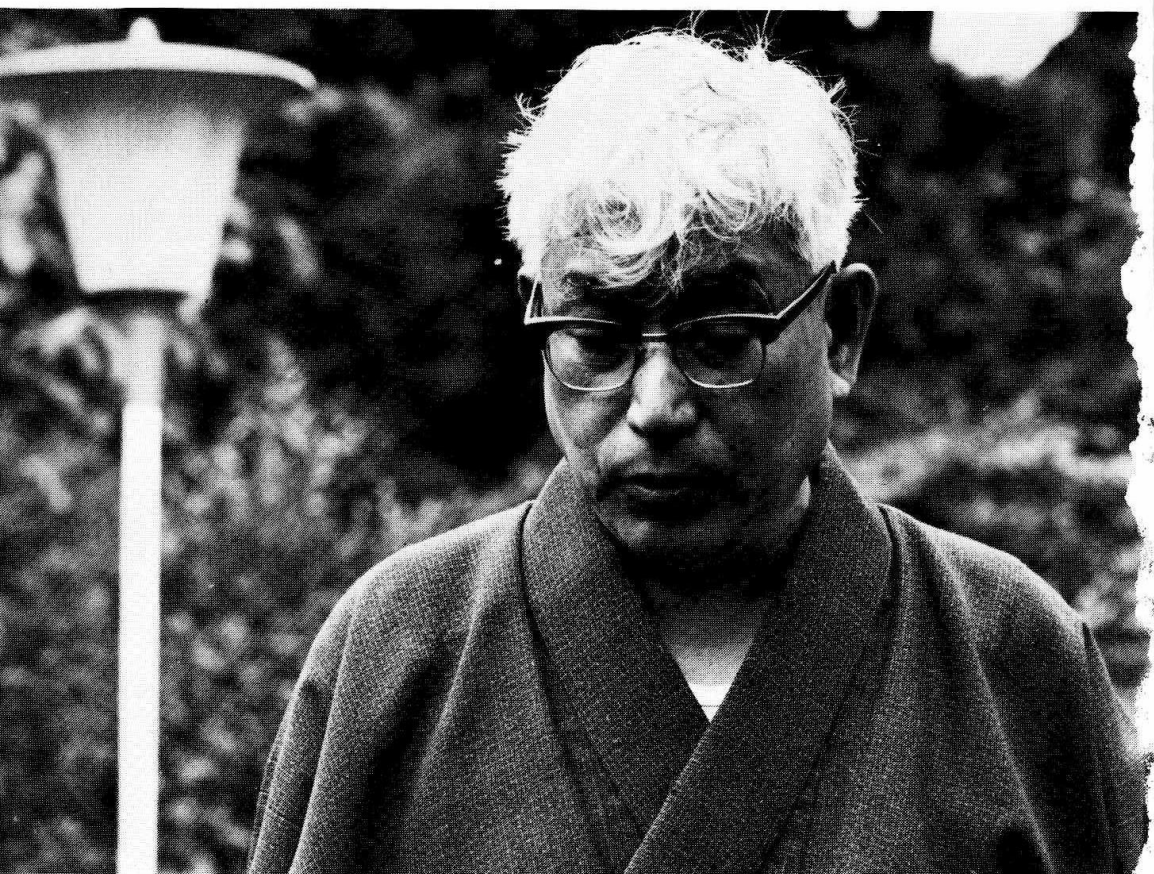
用紙 株式會社 竹尾

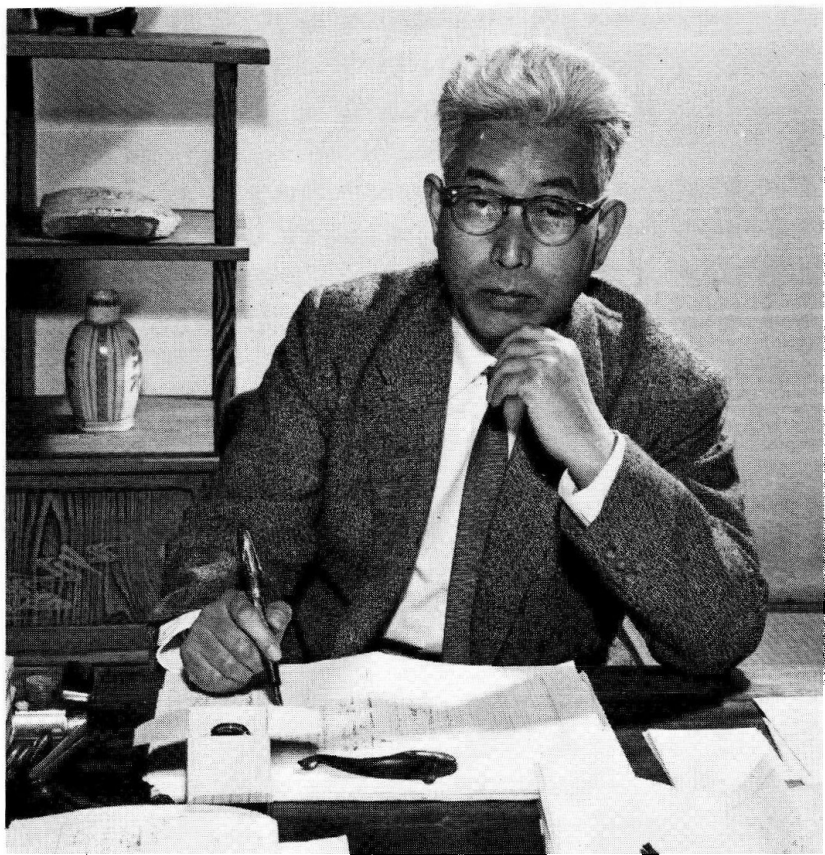
發行所 勝 承夫詩集刊行會

113 東京都文京區本駒込一一〇一二

甫水會館 〇三一九四一一九五六一

©勝 芳江 一九八一





上、昭和30年頃、自宅書斎で
下、社歌の審査。勝、サトウ
ハチロー、服部良一各氏らと



上、「詩と音楽の会」で。小林純一・勝・藪田義雄・平井康三郎各氏
下、昭和36年東洋大学工学部開設式で。剣木享弘理事長らと



上，日本音楽著作権協会30周年記念会にて
中，北原白秋歌碑除幕式，小村三千三氏と
下，昭和47年，井上康文・淑子夫人・尾崎喜八氏と





上, 昭和53年, 「歌の町」歌碑前 (三浦市三崎歌舞島にて)
下, 叙勲の会でサトウハチロー氏と勝夫妻

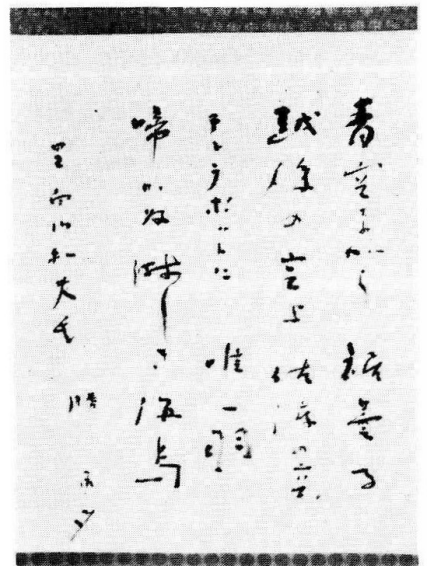
茉莉花の

勝 承大 作詩
平井康三郎作曲
(Aug. 1981)

気さく



平井康三郎作曲「茉莉花の」
昭和54年喜寿祝賀会の勝夫妻



上，昭和55年12月自宅にて
下，著者筆蹟



昭和56年 9月12日

東洋大学・日本音楽著作権協会合同葬（千日谷会堂）

〔写真提供：勝芳江・東洋大学〕

下巻目次

航路……………	(二)
若き日の夢……………	(三)
篝火……………	(一九)
日本詩集……………	(二〇)
草笛集……………	(二三)
詩集未収載詩篇……………	(三五)
楽曲のある詩篇……………	(三一)
日本音楽著作権協会登録作品目録……………	(三四)
社歌等……………	(三〇)
県民歌・市歌等……………	(三一)
校歌等歌詞所在一覧……………	(三二)
解説……………	(四三)
勝承夫先生のプロフィール……………	(四五)
勝承夫略年譜……………	(四六)
あとがき……………	(四八)

航

路



最上川河口……………(一七)
機械よ……………(一九)
濱田村……………(二)
米……………(三)
小豆……………(五)
警告……………(二六)
焦燥……………(二九)
冬の仕度……………(三)
殺人列車……………(三)
日々……………(三)
母のこゝろ……………(三七)
夜汽車……………(三九)
新春三題……………(四)
海老……………(四)
昆布……………(四)
橙……………(四)

豫感……………	(四)
靜かなる炎……………	(四七)
競技者……………	(四九)
遅しい男……………	(五二)
或る空間……………	(五三)
峠……………	(五五)
夕餉の卓……………	(五八)
蛇……………	(五七)
さやうなら……………	(五八)
草を敷いて……………	(五九)
海から來た男……………	(六二)
山の友へ……………	(六三)
田舎にて……………	(六四)
將棋頭附近で……………	(六六)
宮田小屋……………	(六八)
泳ぎながら……………	(六九)
嘶く……………	(七二)
芽……………	(七三)
白金のペン……………	(七五)